

2018年度

全学部統一入試

日本史B

[60 分]

【問題 1】 和銅年間に関する史料 A と『常陸国風土記』を出典とする史料 B を読んで、下の問い（問 1～問10）に答えなさい。（史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

史料 A

（①和銅四年冬十月甲子）②詔して曰く、「夫れ③錢の用なるは、財を通して有無を貿易する所以なり。当今、百姓なお習俗に迷ひて未だ其の理を解せず。僅に売買すと雖も、猶ほ錢を蓄ふる者無し。其の多少に随ひて節級して④位を授けよ。其れ従六位以下、蓄錢一十貫以上有る者には、位一階を進めて叙せよ。廿貫以上には二階を進めて叙せよ。……其の五位以上及び正六位、十貫以上有らむ者は、臨時に勅を聴け。……」

問 1 下線部①に関連して、和銅とは銅が献上されたことに由来する年号であるが、改元の契機となった銅の産地として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 武蔵国 ② 陸奥国 ③ 土佐国 ④ 薩摩国

問 2 下線部②に関連して、和銅四年の時期の都として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 難波宮 ② 藤原京 ③ 平城京 ④ 長岡京

問 3 下線部③の「詔」を出した人物として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 持統天皇 ② 元明天皇 ③ 聖武天皇 ④ 桓武天皇

問 4 下線部④に関連して、和銅年間に発行された錢について述べた文 I と II について、その正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

I 和銅元年に発行された和同開珎は、銀錢と銅錢の二種類があった。

II 和同開珎は隋の開元通宝にならって鑄造されたものである。

- ① I. 正 II. 誤 ② I. 誤 II. 正
③ I. 正 II. 正 ④ I. 誤 II. 誤

問5 下線部㉑に関連して、皇朝十二銭について述べた文ⅠとⅡについて、その正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- Ⅰ 皇朝十二銭のなかで最も古い時代に鑄造されたものは富本銭である。
Ⅱ 皇朝十二銭のなかで一番新しいものは、村上天皇の時代に発行された乾元大宝である。
- ① Ⅰ. 正 Ⅱ. 誤 ② Ⅰ. 誤 Ⅱ. 正
③ Ⅰ. 正 Ⅱ. 正 ④ Ⅰ. 誤 Ⅱ. 誤

問6 下線部㉒に関連して、位階制について述べた文ⅠとⅡについて、その正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- Ⅰ 天智天皇が初めて制定した冠位制は、律令によって廃止され、位階制に改められた。
Ⅱ 和銅年間における位階制は養老律令によって定められたものである。
- ① Ⅰ. 正 Ⅱ. 誤 ② Ⅰ. 誤 Ⅱ. 正
③ Ⅰ. 正 Ⅱ. 正 ④ Ⅰ. 誤 Ⅱ. 誤

問7 史料Aの出典として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 『令義解』 ② 『令集解』 ③ 『日本後紀』 ④ 『続日本紀』

史料B

常陸 、^げ解し申す。古老相伝ふる旧聞の事。

国郡の旧事を問ふに、古老答へて曰く、古は、国足柄の岳^{やま}の坂より東の諸^{あがた}の県^す、惣^{あずま}べて我姫の国と称す。是の当時、常陸と言はず。唯、^{にいほり}新治・筑波・茨城・那賀・久慈・多珂の国と称し、^{おのおのみやつこ}各造^{わけ}・別^{つか}を遣はして檢校せしむ。其の後、^{なにわ}難波の長柄^{ながら}の豊前^{とよさき}の大宮に臨軒^{あめのしたしら}しめしし天皇の世に至り、^{たかむこのおみ}高向臣^{なかとみのはとりだのむらじ}・中臣幡織田連等を遣はして、坂より東の国を惣領せしむ。時に我姫の道、^{ひとつ}分かれて八国と為り、常陸国、其の一に居れり。

問8 にあてはまる語として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 郡司 ② 国司 ③ 国造 ④ 県主

問9 にあてはまる語として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 上総 ② 武蔵 ③ 相模 ④ 伊豆

問10 下線部㉔が示す人物として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 齐明天皇 ② 文武天皇 ③ 孝徳天皇 ④ 推古天皇

【問題2】 中世の歴史に関する次の史料 A、B を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

史料 A

不計^①万歳期セシ花ノ都、今何ンゾ狐狼ノ伏土トナラントハ。適残ル^②東寺・^③北野サヘ灰土トナルヲ。古ニモ治乱興亡ノナラヒアリトイヘドモ、応仁ノ一変ハ仏法^アトモニ破滅シ、諸宗皆悉ク絶ハテヌルヲ不堪感歎、飯尾彦六左衛門尉、一首ノ歌ヲ詠ジケル。

汝ヤシル 都ハ野辺ノ 夕雲雀 アカルヲ見テモ 落ルナミタハ

問1 史料 A は、応仁の乱による荒廃を述べた一節であるが、応仁の乱の説明として、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 応仁の乱は、細川勝元と山名持豊との対立が要因の一つであった。
- ② 応仁の乱は、足利義政の弟義視と、義政の子義尚との相続争いが要因の一つであった。
- ③ 応仁の乱は、管領家の畠山家内部や、同じく斯波家内部での相続争いが要因の一つであった。
- ④ 応仁の乱は、京都が主戦場で、全ての守護大名とそれに従う守護代も京都を離れることはなかった。

問2 下線部^④に関連して、室町時代の文化を代表する建築・庭園として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 龍安寺庭園
- ② 鹿苑寺庭園
- ③ 白水阿弥陀堂
- ④ 慈照寺銀閣

問3 下線部^②「東寺」の別の名称として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 唐招提寺
- ② 東福寺
- ③ 本願寺
- ④ 教王護国寺

問4 下線部㉔に関連して、北野神社（北野天満宮）に祭神として祀られている人物の説明として、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 14

- ① 『菅家文草』を著した。
- ② 奥州平泉に左遷された。
- ③ 醍醐天皇の時代に右大臣になった。
- ④ 遣唐大使に任じられたが、結局、唐へは渡らなかった。

問5 アには、宗教的権威である「仏法」に対して、政治的権力を意味する語が入る。アにあてはまる語として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 15

- ① 王法
- ② 幕法
- ③ 朝廷
- ④ 権現

史料B

（㉔文明九年十二月十日）（中略）就中天下の事、更に以て目出度き子細これ無し。近国に於いては、近江・三乃・尾帳・遠江・三川・㉕飛驒・能登・加賀・越前・大和・河内、此等ハ悉く皆御下知に应ぜず、年貢等一向進上せざる国共なり。其の外ハ紀州・撰州・越中・和泉、此等ハ国中乱るるの間、年貢等の事、是非に及ばざる者なり。サテ㉖公方御下知の国々ハ幡摩・備前・美作・備中・備後・伊勢・伊賀・淡路・四国等なるが、一切御下知に应ぜず。㉗守護の体、別体に於いては、御下知畏み入るの由申し入れ、遵行等これを成すと雖も、守護代以下在国の物、中々承引する能はざる事共なり。仍て日本国ハ悉く以て御下知に应ぜざるなり。

問6 史料Bは『大乘院寺社雑事記』の一節であるが、この日記を記した人物として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 16

- ① 尋尊
- ② 雪舟
- ③ 夢窓疎石
- ④ 一休宗純

問7 下線部㉔にある「文明九年」は、応仁の乱において両軍で和議が結ばれた年であるが、西暦で何年にあたるか。次の①～④のうちから一つ選びなさい。 17

- ① 1467年
- ② 1470年
- ③ 1477年
- ④ 1482年

問8 下線部㉕「飛騨・能登」とは旧国名であるが、それぞれ現在の何県（または、その一部）に相当するか。最も適切な組み合わせを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

18

- ① 飛騨－山梨県 能登－富山県
- ② 飛騨－岐阜県 能登－石川県
- ③ 飛騨－兵庫県 能登－福井県
- ④ 飛騨－滋賀県 能登－新潟県

問9 下線部㉖「公方」とは将軍であるが、「文明九年」の将軍として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 19

- ① 足利義満
- ② 足利義昭
- ③ 足利義教
- ④ 足利義尚

問10 下線部㉗の部分、どのようなことを述べているのか。最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 20

- ① 守護は将軍からの命令を謹んで聞き、その命令を執行しようとするが、守護代などの在国のものたちがなかなか命令を受け入れようとしない。
- ② 守護は将軍からの命令とは異なる内容を執行しようとし、守護代などの在国のものたちはその守護からの命令に背くことはできないとする。
- ③ 守護は将軍からの命令とは異なる内容を執行しようとするが、守護代などの在国のものたちは将軍からの命令に背くことはできないとする。
- ④ 守護は将軍からの命令を謹んで聞き、その命令を執行しようとし、守護代などの在国のものたちも将軍からの命令に背くことはできないとする。

【問題3】 近世日本の幕藩体制に関する次の文章を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。

徳川家の支配体制を幕藩体制といい、3代将軍徳川家光の頃までに確立したと考えられる。幕藩体制の「幕」は江戸に開かれた幕府を指し、「藩」は各地の大名の領地とその支配機構を総称したものである。

徳川家の幕府による統治には、㉑大名の居城を一つに限ったことや、㉒武家諸法度による厳しい統制、大名の㉓土地領有者としての地位の保証、㉔軍役の賦課、㉕参勤交代が大きな役割を果たした。そして、これらの施策によって将軍と諸大名の主従関係が確立し、将軍と大名と土地と人民を強力に統治・支配する体制が確立したのである。

幕府の財源は、400万石にもおよぶ直轄領から徴収される年貢のほかに、㉖各地の鉱山から得られる収入が主なものであった。また、主要な商業都市を直轄にすることで商工業や貿易を統制し、㉗貨幣の鑄造権も握った。

幕府の職制は、当初は と呼ばれた重臣が と呼ばれて政務を統括するようになり、その を補佐し旗本を監督する 、大名を監察する大目付、旗本・御家人を監察する目付のほかに、三奉行などが役職として定められていった。

一方、幕府の地方組織としては、朝廷の統制や西国大名の監視を目的に置かれた京都所司代や、重要都市に置かれた㉘城代と町奉行などがある。また、㉙幕府直轄領には、関東・飛騨・美濃などには郡代が、そのほかには代官が派遣された。

藩の支配体制は、当初は地方知行制をとる場合もあったが、17世紀半ばには多くの藩が城下町に家臣を住まわせ、藩政を分担させて蔵米を支給する俸禄制度をとるようになった。

問1 下線部㉑に関連して、大名の居城を一つに限る「一国一城令」が出された時の状況について述べた文として、最も適切なものを、以下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 大坂の役が終結した翌年に一国一城令が出された。
- ② 禁中並公家諸法度が発布される前年に一国一城令が出された。
- ③ 全国にキリシタン信仰を禁じた翌年に一国一城令が出された。
- ④ 徳川家康が死去する前年に一国一城令が出された。

問2 下線部⑥の武家諸法度について述べた文として、最も適切なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 最初の武家諸法度は後醍醐天皇が作成させた建武式目や戦国大名が作成した分国法などをもとに作成された。
- ② 最初の武家諸法度を起草した金地院崇伝は臨濟宗の僧侶である。
- ③ 武家諸法度は將軍代替わりごとに発布され、最初の武家諸法度は徳川家康の代に発布されたものである。
- ④ 武家諸法度は浪人も含むすべての武士に対する根本法典である。

問3 下線部③に関連して、徳川秀忠が領地の確認文書を発給した相手として、最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 大名のみ
- ② 大名と旗本
- ③ 大名と旗本と公家
- ④ 大名と公家と寺社

問4 下線部④の軍役の内容として、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 江戸城の警護役を負担すること。
- ② 石高に応じた人馬武具類を保持すること。
- ③ 將軍の命令で出陣すること。
- ④ 土木工事など普請役を負担すること。

問5 下線部⑤の参勤交代について述べた文として、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 参勤交代が義務付けられたのは寛永令からである。
- ② 文久の改革によって参勤交代が緩和された。
- ③ 大名の妻子は江戸に住むことを強制された。
- ④ 水戸藩の藩主は、緊急時以外は国元にいることが認められて参勤交代が免除された。

問6 下線部㉑に関連して、幕府が管理していた鉱山について述べた文として、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 26

- ① 足尾の銅山は、1610年に発見され、17世紀に最盛をむかえた鉱山で、明治政府が民間に払い下げた後に古河が買収した。
- ② 佐渡の金山は、秀吉が直轄した後、江戸幕府、明治政府へと引き継がれ、その後は三菱に払い下げられた。
- ③ 但馬生野の銀山は、16世紀半ばに発見されたと伝えられ、信長・秀吉・家康が直轄し、これを継承した明治政府は1896年に三菱に払い下げた。
- ④ 別子の銅山は、1690年に発見された江戸時代最大の銅山であり、明治以降には住友財閥の母体となった。

問7 下線部㉒に関連して、江戸時代の貨幣について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 27

- ① 金貨の鑄造をおこなう金座は、はじめは江戸と京都におかれたが、最終的に江戸に集約された。
- ② 銀貨の鑄造をおこなう銀座は、はじめは伏見と駿府におかれたが、最終的に京都、江戸、長崎、大坂にもおかれるようになった。
- ③ 東日本ではおもに銀貨が、西日本ではおもに金貨がそれぞれ取引や貨幣計算の中心とされていたことから、三貨の交換比率は相場によってつねに変動していた。
- ④ 輸入貨幣などの影響から不安定な銭貨であったが、寛永期に開設した銭座で寛永通宝を大量に鑄造・流通させたことで、三貨の交換比率が統一された。

問8 文中の [ア] ～ [ウ] に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 28

- ① ア 側用人 イ 年寄 ウ 若年寄
- ② ア 側用人 イ 老中 ウ 年寄
- ③ ア 年寄 イ 老中 ウ 若年寄
- ④ ア 老中 イ 若年寄 ウ 小姓組番頭

問9 下線部⑮の城代・町奉行について述べた文として、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 城代とは、将軍に代わって城を預かる職のことで、大名が江戸在府時に城を預かる職は城代家老という。
- ② 当初駿府・二条（京都）・大坂・伏見に城代が設置されたが、そのうち江戸末期まで城代がおかれていたのは駿府と大坂だけである。
- ③ 町奉行がおかれたのは、江戸・大坂・駿府の三都市のみである。
- ④ 町奉行は老中の下におかれた職で、江戸におかれた町奉行は三奉行の一つに数えられるが、その三奉行の一つである寺社奉行は将軍直属である。

問10 下線部⑰の郡代・代官を統括していた勘定奉行について述べた文として、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 関八州外の訴状受理もおこなう役職である。
- ② 金・銀・錢座の統括もおこなう役職である。
- ③ 旗本から選任された4～5名からなる役職である。
- ④ 老中の下におかれた役職である。

【問題4】 日清戦争にいたる経緯について述べた次の文章を読んで、下の問い（問1～問10）に答えなさい。

㉑江華島事件の結果として1876（明治9）年に日本が朝鮮を開国させると、朝鮮国内では国王高宗の外戚である閔氏一族など親日的な勢力が台頭するが、進出を強める日本への不満も高まった。1882（明治15）年に漢城（現在のソウル）で、日本への接近に反対する大院君を支持する軍隊が反乱をおこし、呼応した民衆が日本公使館を包囲した。いわゆる [ア] 軍乱（または [ア] 事変）である。清国が介入し反乱は失敗に終わるが、これを機に清国が朝鮮への進出を強め、閔氏一族は清国へ依存し始めた。

一方、日本と協力し朝鮮を近代化しようとした開化派の [イ] らは1884（明治17）年、清仏戦争における清国軍の敗戦を知り、日本公使館の支援を得てクーデターをおこした。いわゆる [ウ] 事変である。しかし、このクーデターは清国軍の来援により失敗した。この事件によって日本と清国の関係がきわめて悪化したため、日本政府は㉒伊藤博文を清国へ派遣し、天津条約を結んだ。この条約では、両国とも朝鮮から撤兵し、今後出兵する場合はたがいに通告しあうこととなった。こうしてとりあえず両国の衝突は回避された。

2回の事変によって日本が朝鮮への影響力をいちじるしく減退させる一方、清国は朝鮮への進出を強めたため、日本国内では清国・朝鮮への世論が急激に悪化した。㉓福沢諭吉が「脱亜論」を発表したのはこのころである。

国内では朝鮮への影響力拡大を目指し軍備増強がすすめられる一方、1889（明治22）年に大日本帝国憲法が発布され、議会政治が開始された。超然主義の立場をとる第一次山県有朋内閣は、第一議会で㉔「政費節減・民力休養」を主張する民党から攻撃されるが何とか予算を成立させた。しかし、第二議会では、第一次松方正義内閣が民党と衝突し衆議院を解散した。こうして第2回総選挙がおこなわれ、内務大臣の [エ] は激しい選挙干渉をおこなった。しかし、民党の優勢をくつがえすことができず、松方内閣は第三議会の終了後に退陣した。松方の後を継いだ第二次伊藤博文内閣は「 [オ] 」といわれた。伊藤は1893（明治26）年、明治天皇の詔勅による調停で海軍軍備の拡張に成功するが、民党優勢の衆議院は日清戦争直前の第六議会まで対立を繰り返した。

1894（明治27）年、朝鮮で㉕東学の信徒を中心として農民の反乱がおこった。いわゆる [カ] 農民戦争（または東学の乱）である。朝鮮は清国へ支援をもとめ、天津条約により、日本も清国に対抗するため出兵した。反乱はすぐにおさまるが、朝鮮の内政改革めぐり日清間の対立が高まり、同年8月、日本が清国に宣戦を布告した。こうして㉖日清戦争が始まった。

問1 下線部①の江華島事件の説明として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 日本の軍艦雲揚が朝鮮側を挑発し戦闘に発展した。
- ② 砲撃をうけた日本側は報復攻撃し、澎湖諸島を占領した。
- ③ 日本と朝鮮は濟物浦条約を結んだ。
- ④ 条約内容への不満から日比谷で焼打ち事件がおこった。

問2 に入る干支の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ア：甲申 ウ：戊辰 カ：乙巳
- ② ア：甲午 ウ：辛亥 カ：壬午
- ③ ア：壬午 ウ：甲申 カ：甲午
- ④ ア：戊辰 ウ：乙巳 カ：辛亥

問3 に入る人物として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 李成桂
- ② 金玉均
- ③ 李承晩
- ④ 金日成

問4 下線部②の伊藤博文の説明として、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 初代内閣総理大臣をつとめた。
- ② 初代枢密院議長をつとめた。
- ③ 初代台湾総督をつとめた。
- ④ 初代韓国統監をつとめた。

問5 下線部③の福沢諭吉の説明として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 東京専門学校を創設した。
- ② 廃仏毀釈を主導した。
- ③ 『文明論之概略』を著した。
- ④ 「東洋大日本国国憲按」を作成した。

問6 下線部④の「政費節減・民力休養」の説明として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 大区・小区をやめ、旧来の郡・町・村を行政上の単位として復活するよう主張した。
- ② 財閥・寄生地主制を解体し経済を民主化するよう主張した。
- ③ 家父長的な家の制度存続を主張した。
- ④ 地租軽減・地価修正をおこなうよう主張した。

問7 に入る人物として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 斎藤隆夫
- ② 品川弥二郎
- ③ 調所広郷
- ④ 関孝和

問8 に入る語句として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 元勳総出
- ② 八紘一字
- ③ 大政翼賛
- ④ 富国強兵

問9 下線部⑤の東学の説明として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 仏を信じない者の施しを受けず、また施しをせずとする仏教の一派。
- ② 致良知・知行合一を説き、実践を重視する民族宗教。
- ③ 古典を研究し、民族精神の究明を重視したキリスト教の一派。
- ④ キリスト教に反対し「斥倭斥洋」を唱えた民族宗教。

問10 下線部⑥の日清戦争の説明として、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 戦争は日本側の圧倒的な優勢のうちに進んだ。
- ② 下関条約が結ばれ講和が成立した。
- ③ 清国は賠償金として2億両（当時の日本貨で約3億1000万円）を支払った。
- ④ 講和成立後、イギリス・フランス・ドイツは山東半島の返還を日本に要求した。